

KISARAZU City 80th anniversary story

木更津市制施行 80周年

木更津市は1942（昭和17）年11月3日に千葉県下で6番目に市制を施行しました。東京湾と上総丘陵が織りなす美しい自然に囲まれながら、交通・行政・商業機能が集積する都市へと発展を遂げています。

1942(昭和17)年11月

木更津市制を施行



木更津町、巖根村、清川村、波岡村の1町3村が合併し、木更津市制を施行しました。当時の人口は33,817人でした。写真右は当時の庁舎。

1959(昭和34)年6月

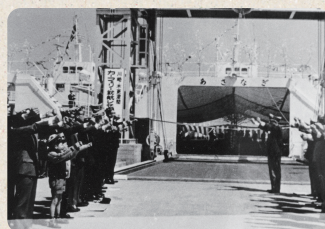
金鈴塚古墳の出土品が国重要文化財に指定される



金鈴などの豊富な遺物と石棺の学術的な重要性が評価されました。

1965(昭和40)年4・7月

木更津～川崎間、～横浜間カーフェリー就航



1997（平成9）年の東京湾アクアライン開通まで、32年間就航しました。

1968(昭和43)年7月

房総西線（現内房線）木更津～千葉間電化開通



房総半島ではいち早く電化区間となり、翌年千葉まで電化開通しました。

1971(昭和46)年9月

富来田町、木更津市と合併



現在の木更津市ができあがります。人口は86,335人になりました。

1974(昭和49)年8月

港まつりに「やっさいもっさい踊り」が加わる



昔からの木更津住民と新しい住民との交流の場にしようと企画されました。

1997(平成9年)12月

東京湾アクアライン開通



川崎まで15.1kmを橋とトンネルで結び、所要時間が30分ほどに短縮されました。

1992(平成4)年3月

きみさざタワー完成



木更津市の市制施行50周年を記念して建設されました。

1992(平成4)年2月

「ぼん天立て」国の記録選択無形民俗文化財に指定



成人儀礼の一種で、出羽三山信仰の具体的な姿を示す貴重な行事と評価されました。

1990(平成2)年6～8月

オーシャンサイド市（米国）との姉妹都市連携調印



英語圏、環太平洋地帯、治安が良いことなどを基準に選定。姉妹都市となりました。

1988(昭和63)年3月

木更津駅西口再開発ビル「アインス」オープン



2000（平成12）年まで、そごうが出店しました。現在はスパークルシティ木更津。

1975(昭和50)年5月

中の島大橋が完成



日本一高い歩道橋。木更津港から東京湾へ出入りする船舶はこの橋の下をくぐります。

現在

2015(平成27)年10月

市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」、産業・創業支援センター「らづ-Biz」開設



木更津市民、木更津市の中小企業向けのサポート体制を強化しました。

2017(平成29)年10月

道の駅「木更津 うまくたの里」オープン



木更津市初の道の駅としてオープン。アクアラインに一番近い人気です。

2019(平成31)年4月

金田地域交流センター「きさてらす」オープン



木更津市で初となる地域コミュニティの交流拠点として、多様な機能を備えた施設。

2019（令和元）年7月

江川総合運動場陸上競技場オープン



江川総合運動場の陸上競技場の拡張調整工事が完了。今後、野球場、サッカー場も整備します。

2019（令和元）年9月

消防本部新庁舎完成



築49年が経ち、老朽化など諸問題を解決するために消防本部庁舎を新築しました。

2021（令和3）年9月

清見台小学校 パラリンピック I'm POSSIBLE アワード開催国最優秀賞受賞



校内のバリアフリーを見直す機会をつくるなど、インクルーシブ教育が認められました。

木更津はまだ未来へ